

【令和 2 年 7 月期 小規模企業景気動向調査報告書】

本会では、県下商工会地区内小規模企業の景気を把握するため、商工会の経営指導員に協力依頼し、小規模企業景気動向調査を毎月実施しています。

このため令和 2 年 7 月期の調査結果がまとまりましたので報告します。

1 調査概要

- (1) 調査時点 令和 2 年 7 月 31 日
- (2) 調査対象 県下 35 商工会（うち 34 商工会より回答）【回収率 97.1%】
- (3) 調査対象業種 製造業（食料品・繊維工業・機械金属）、建設業、小売業（衣料品・食料品・耐久消費財）、サービス業（旅館・洗濯・理美容）の 10 業種
- (4) 調査方法 商工会の経営指導員に対するアンケート方式
- (5) 集計方法 質問項目（業況、売上、仕入単価、採算、資金繰り）の「好転・増加・上昇」とする数値からそれぞれ「悪化・減少・低下」とする数値を引いた値

2 概要（トピックス）

【衣料品・耐久消費財小売業の季節商品の需要により全体の業況を好転させた】

産業全体の業況 DI（景気動向指数・前年同月比）は-54.4（前月-57.3、前年同月-14.2）で、前月比 2.9pt 好転した。新型コロナウイルスの終息が見えない中、夏に向けて衣料品、耐久消費財を中心に業況が改善された。しかし、依然建設業や旅館業は厳しい経営状況が続くと考えられる。

【製造業】

業況は-43.2（前月-45.1、前年同月-14.6）と前月に比べ 1.9pt 好転した。依然、自動車関連の製造業は厳しいものの、食料品製造業が外食控えの影響により安定した売上に繋がっており、業況を押し上げた。

【建設業】

業況は-58.9（前月-58.8、前年同月-2.9）と前月に比べ 0.1pt 悪化した。補助金の活用によるリフォームや長雨による修繕と一時的な受注は見受けられたが、工事の延期・現場作業停止も続いており、今後の見通しもたえず景況感は悪い。

【小売業】

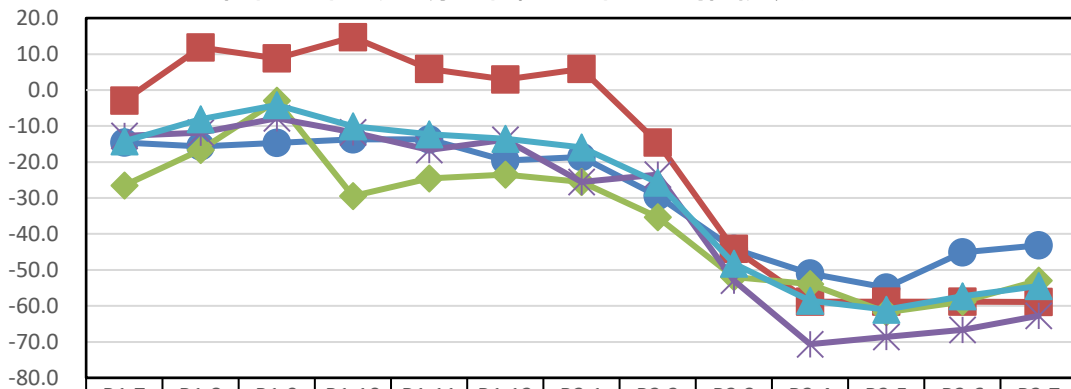
業況は-52.9（前月-58.8、前年同月-26.5）と前月に比べ 5.9pt 好転した。夏物衣料が動き出し、猛暑を受けて空調機器等の耐久消費財の売上が増加した。食料品に関しても売上は増加しているものの大雨の影響で野菜の仕入価格が上昇している。

【サービス業】

業況は-62.8（前月-66.7、前年同月-12.8）と前月に比べ 3.9pt 好転した。旅館業は GoTo キャンペーンで持ち直すと思われたが新型コロナの再拡大でキャンセルが相次いだ。また、長雨等天候不順により一時的に洗濯業は業況が好転した。

3 本調査に関する問合せ 静岡県商工会連合会 産業振興課 TEL054-255-9811〔担当：戸塚〕

＜令和2年7月期 業種別業況DI推移表＞



● DI値(製造業)	-14.6	-15.6	-14.7	-13.7	-13.7	-19.6	-18.6	-29.5	-44.1	-51.0	-54.9	-45.1	-43.2
■ DI値(建設業)	-2.9	11.8	8.8	14.7	5.9	2.9	5.9	-14.6	-44.1	-58.8	-58.8	-58.8	-58.9
◆ DI値(小売業)	-26.5	-16.7	-2.9	-29.4	-24.5	-23.5	-25.5	-35.3	-52.0	-54.0	-61.8	-58.8	-52.9
✱ DI値(サービス業)	-12.8	-11.8	-7.8	-11.8	-16.7	-13.8	-25.5	-23.5	-52.9	-70.6	-68.6	-66.7	-62.8
▲ DI値(全業種平均)	-14.2	-8.1	-4.2	-10.1	-12.3	-13.5	-15.9	-25.7	-48.3	-58.6	-61.0	-57.3	-54.4

＜経営指導員コメント抜粋＞

【製造業】(食料品製造業・繊維工業・機械金属業)

- ・食料品関係は外食を控えていることから売上は若干の増加傾向である。(伊豆)
- ・空調機器関連は受注が戻らず厳しい状況が続いている。自動車部品関連も厳しいが来月からは少し戻る予想。(富士駿東)
- ・食料品製造業は安定してきているが自動車関連製造業は依然として低迷している。(中部)
- ・先月に引き続き、縫製業者が取引先等から布製マスクの製造受注が継続している。(中東遠)
- ・スーパー向け中食用食材が好調な企業がある。機械金属業は新型コロナの影響で受注・生産量が減少していて、売上が減少傾向。(西遠)

【建設業】

- ・町補助金の住宅リフォーム補助金活用や半休状態である民宿等の事業所から修繕等の受注が見受けられたが、新型コロナ再蔓延により今後の影響が懸念される。(伊豆)
- ・新型コロナの感染防止のために作業者の集中を避けなければならない、作業効率が悪化している。(富士駿東)
- ・長雨により雨漏り修繕の受注がみられた。前月より回復傾向であるものの景況感は悪い。(中部)
- ・引き続き工事の延期などもあり、動向は厳しい。(中東遠)
- ・配管業において水道工事の受注がある上に長雨で土砂崩れや道路決壊による応援で仕事が急増しているが、今後の受注が不透明である。(西遠)

【小売業】(衣料品小売業・食料品小売業・耐久消費財小売業)

- ・食料品は新型コロナの影響で外食を控えているせいか横ばいで推移している。しかし、大雨の影響で野菜の価格が上昇してきている。(伊豆)
- ・家電製品で、猛暑を受けて空調機器の販売が好調である。(富士駿東)
- ・市と商工会が計画したプレミアム商品券事業の開始により、衣料品店で来季の学生服の支払方法を商品券で対応可能と告知し、早めの決済手続きで資金繰りが楽になった。(中部)
- ・夏物衣料が動き出し、先月に比べ持ち直し感がある。食料品は外食を控える傾向から来店客はある。まとめ買いの傾向である。定額給付金もあり冷蔵庫等が売れた。(中東遠)
- ・衣料品において、7月に入り売上がかなり回復してきている。(西遠)

【サービス業】(旅館業・洗濯業・理美容業)

- ・GoTo キャンペーンで持ち直すと思われたが新型コロナの再拡大でキャンセルが相次いだ。洗濯業は長雨等天候不順により一時的に利用がみられた。(伊豆)
- ・理美容、整体、マッサージ業においても密を避ける傾向にあり客足は回復していない。(富士駿東)
- ・理美容業で接触を注意しながらの来店。来店サイクルが伸びている(中部)
- ・理美容業でアルコール、消毒といった衛生消耗品の購入経費が増加。(中東遠)
- ・飲食業は新型コロナの影響を受け、7月もお客が戻ってきていない状態である。(西遠)

小規模企業景気動向調査(令和2年7月末)

1.食料品製造業

	今期 DI	前期 DI	対前期比
業況	-44.2	-52.9	好転
売上	-41.1	-50	増加
仕入単価	0	0	不変
採算	-50	-58.8	好転
資金繰り	-50	-52.9	好転

2.繊維工業

	今期 DI	前期 DI	対前期比
業況	-23.5	-23.5	不変
売上	-20.5	-20.6	増加
仕入単価	3	5.9	低下
採算	-17.6	-17.6	不変
資金繰り	-17.6	-17.6	不変

3.機械金属業

	今期 DI	前期 DI	対前期比
業況	-61.8	-58.9	悪化
売上	-64.7	-61.8	減少
仕入単価	-2.9	-5.9	上昇
採算	-58.8	-58.8	不変
資金繰り	-61.7	-58.8	悪化

4.建設業

	今期 DI	前期 DI	対前期比
業況	-58.9	-58.8	悪化
売上	-41.1	-53	増加
仕入単価	-5.9	5.9	低下
採算	-53	-50	悪化
資金繰り	-53	-55.9	好転

5.衣料品小売業

	今期 DI	前期 DI	対前期比
業況	-73.5	-79.4	好転
売上	-64.7	-73.5	増加
仕入単価	-11.8	-8.8	低下
採算	-55.9	-64.7	好転
資金繰り	-64.7	-67.6	好転

6.食料品小売業

	今期 DI	前期 DI	対前期比
業況	-41.2	-41.2	不変
売上	-14.7	-20.6	増加
仕入単価	8.8	5.9	上昇
採算	-44.2	-44.2	不変
資金繰り	-47.1	-44.1	悪化

7.耐久消費財小売業

	今期 DI	前期 DI	対前期比
業況	-44.1	-55.8	好転
売上	-35.4	-52.9	増加
仕入単価	3	5.9	低下
採算	-32.4	-44.1	好転
資金繰り	-47	-47	不変

8.旅館業

	今期 DI	前期 DI	対前期比
業況	-67.7	-67.6	悪化
売上	-64.7	-64.7	不変
仕入単価	-5.9	-8.9	上昇
採算	-64.6	-64.7	好転
資金繰り	-67.6	-64.6	悪化

9.洗濯業

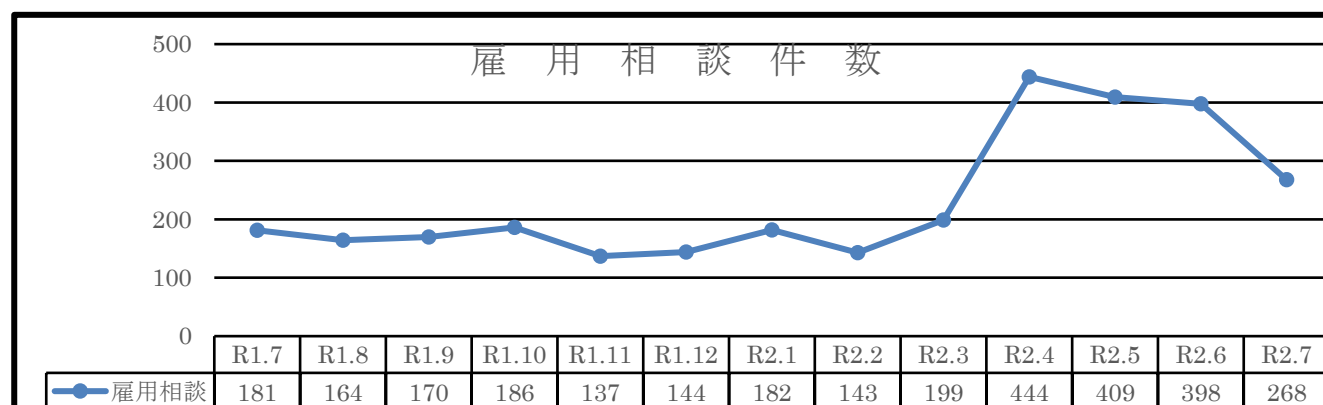
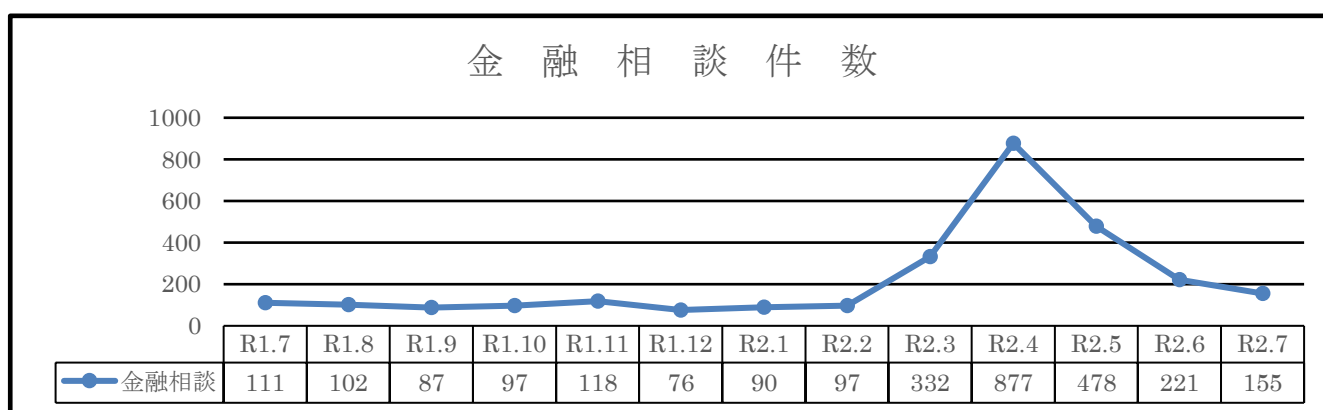
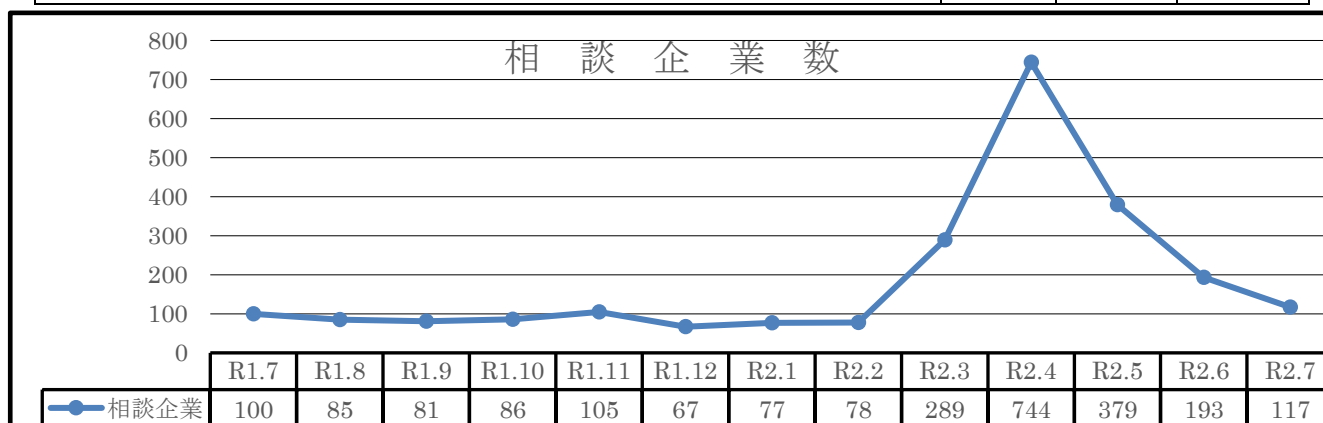
	今期 DI	前期 DI	対前期比
業況	-61.8	-67.7	好転
売上	-64.7	-70.7	増加
仕入単価	-8.8	-2.9	低下
採算	-50	-52.9	好転
資金繰り	-55.9	-58.9	好転

10.理美容業

	今期 DI	前期 DI	対前期比
業況	-58.8	-64.7	好転
売上	-55.9	-53	減少
仕入単価	-2.9	-8.8	上昇
採算	-50	-50	不変
資金繰り	-58.9	-58.8	悪化

金融・雇用相談実績月次報告(令和2年7月期)

内容別内訳 (※1件の相談で複数の対応をした場合はそれぞれにカウント)	今月	前月	前月比
【相談企業数】	117	193	-76
【金融相談件数】	155	221	-66
新規融資（借換えを除く）	98	135	-37
既存債務の借換え	47	79	-32
借入れ条件変更	0	0	0
消費者金融・商工ローン関連	0	0	0
貸し渋り・貸し剥がし	0	0	0
その他	10	7	3
【雇用相談件数】	268	398	-130



【金融相談】

金融相談件数は、155件と前月(221件)に比べ66件減少した。以前に比べ新型コロナウイルス関連の融資は落ち着いてきている。また、新型コロナウイルスの終息が見通せず、運転資金を確保しようとする動きがみられる。

<経営指導員コメント>

- ・コロナ特別貸付の処理が大幅に早くなった。以前に比べ、相談件数が減少している。(伊豆)
- ・今までに比べ、緊急性のある融資相談ではなくコロナ禍の収束目途がたたない為、念のため運転資金を確保しておきたいといった印象。(富士駿東)
- ・以前は日本政策金融公庫の普通貸付(コロナ特別枠)が多かったが、最近ではマル経(コロナ特別枠)が徐々に増えている。(中部)
- ・既存債務借換えでは、先行きの不安もあり運転資金の手当てをした相談や既存債務をまとめたい等の相談がある。(中東遠)
- ・コロナ関連融資は一服した感がある。しかし、浜松地区で新型コロナ発生により景気サイクルが停止しており、今後の心配である。(西遠)

【雇用相談】

雇用相談件数は、268件と前月(398件)に比べ130件減少した。地域により、新型コロナウイルスの影響による雇用調整助成金の相談件数に差が見られる。雇用に関する相談内容の多くは雇用調整助成金に関する相談となっている。

<経営指導員コメント>

- ・コロナ関連の相談は大分減った印象がある。ただ、仕事量が戻らない為、従業員から仕事を辞めたいという話が多くなってきた。(伊豆)
- ・雇用調整助成金の申請が一巡し相談件数も減少している。(富士駿東)
- ・依然、雇用調整助成金に関する相談が多い。(中部)
- ・6月、製造業の雇用調整助成金申請があったが、7月に入り少し落ち着いている状況である。(中東遠)
- ・雇用調整助成金の相談が増加してきている。セミナーも開催し対応している。(西遠)

【その他商工会管内に関するコメント】

- ・河津町商工会プレミアム工事券を7/15・16の2日間販売し、建設事業者への経済効果が見込まれる。小規模事業者おもてなし工事補助事業の募集を行い、おもてなしに関する設備投資などを支援した。(河津町)
- ・8月までのイベントはすべて中止が決定、市からイベントに対するガイドラインが発行され秋以降のイベントについても中止が決定しはじめた。行政が50%のプレミアム付商品券の発行を決定、7月にチラシ配布・抽選販売の申込みを実施。8月に販売を行う。(沼津市)
- ・8月には「持続可能ものづくり事業支援補助金」、「紙・パルプ関連事業者新製品・新技術等開発支援補助金」を募集。市で新型コロナ対応事業者総合支援窓口を設置し、当商工会も運営に参加。(富士市)
- ・屋外イベントであるビーチフェスタ、新型コロナウイルス感染症により中止。(静岡市清水)
- ・7月後半より、観光協会のイベントで「うなぎつかみ体験」「さかなとり体験」「しらす釜揚げ体験」などを行っており、新聞等マスコミに取り上げられて多くの来館者がいる。新型コロナウイルス感染症の影響で密にならないよう対策している。(新居町)